

【体育祭に寄せて】

「調子に乗っている」秦高生の本気とは！？

校長 神戸 秀巳

暑い夏！秦高の夏！「できることは何でもやる」「調子に乗っている」秦野高校の「元気な」皆さんは、これまで培ってきた仲間たちとの‘絆’を基に、どんなすばらしいパフォーマンスを見せて（魅せて）くれるのでしょうか？

多くの生徒が口にしてきた『恩返し』を、どれほどの気持ちを込めて、どのような形で、日頃お世話になっている皆様に示すことができるのでしょうか？

タイトルは、『空前絶後の秦高体育祭－熱くなれ！2017！』です。空前絶後とは「今までに例がなく、これからもあり得ないようなこと」を指します。まさか、『な～んだ！！』と観衆をがっかりさせることはないでしょうが、口にした以上は「**有言実行**」あるのみです。創立100周年のキャッチフレーズである「大きく羽ばたく秦野高校」の心意気をぜひ感じたいと思います。

体育祭実行委員会、各係、生徒会をはじめ、これまで努力を積み重ねてきた多くの皆さんの力を結集して、「感謝」の気持ちを忘れず、めいっぱいはじけ、楽しみましょう。

突き抜ける！秦高生！ 大いに期待しています。

平成29年6月6日実施